＜SDGs視点＞防災用品のご提案

災害対策は「自助」から「共助」の時代へ

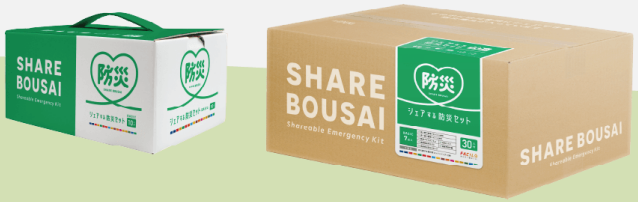
社会貢献型

シェアする防災セット

GOOD DESIGN AWARD 2022
BEST 100

防災グッズ大賞2022
備蓄部門 優秀賞受賞

一般社団法人
防災安全協会推奨品
内閣府(防災担当)
防災推進協議会構成団体



シェアする防災セット とは

「 防災をシェアする 」という、考え方。

最大30人分の防災用品が入った、
「シェアする防災セット」。
車やオフィス、店舗などに備えることで、
従業員のためはもちろんのこと、
周りの人々に防災用品を配付することができます。
地震や豪雪などの災害や、
不測の事態が起きた時に備え、
企業としてできる社会貢献のひとつのカタチです。

GOOD DESIGN AWARD 2022
BEST 100

「 シェアする防災セット 」は、防災用品専門メーカーである
ファシルが提案する新しい **社会貢献型** の商品です。
「 災害対策は **自助** から **共助** へ 」、この考え方が評価され
2022年度グッドデザイン・ベスト100を受賞いたしました。

企業防災の現状

現状

従業員に対する＜自助＞の備蓄は
定着している一方、**従業員以外のことまで考えた**
＜共助＞の備えも行っている企業は、まだまだ少ない。

東日本大震災では、大規模災害時における「公助の限界」が明らかになり、
「自助＋共助」による被害軽減のための努力が求められている。

これから

現在、世界中が共通の目標として取り組み始めている
「サステナブルな社会の実現」のためにも、
これからの災害対策の在り方は、**「じぶん」だけではなく**
「だれか」のことまで考えた対策が必要。

企業防災に求められる社会貢献

内閣府の企業防災のページ によると

「企業は、従業員や顧客の安全を第一に防災活動に取り組まなければなりません。
また、**地域の一員として、被害の軽減及び**
災害復旧・復興に貢献することが求められています。」[1] と示されています。

最新情報

2023年6月に閣議決定された政府の防災対策に関する「防災白書」では、

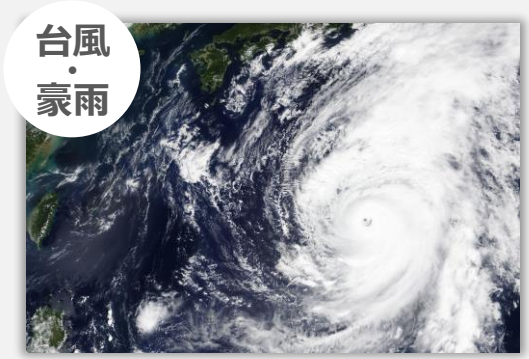
「（前略）行政による「公助」だけでは十分な被災者支援を行うことができない。
このため、国民一人一人の**「自助」の意識** を高めていくとともに、
「共助」の取組 を促進するため、（中略）
多様な主体が連携した被災者支援体制を構築していく必要がある。」[2]

として、自助・共助のそれぞれの重要性を強調し、今後の災害対策の方向性が示されています。

1）内閣府．“企業防災のページ(内閣府防災担当)”． 防災情報のページ．2021．https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/bousai/index.html（参照 2022-07-20）
2）内閣府防災情報「令和5年防災白書(全体版)」https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/pdf/r5_all.pdf,（参照 2023-06-23）

「防災をシェアする」という考え方

大地震以外にも、豪雪・台風・豪雨 など 日々様々な自然災害が発生しています。
ひとたび災害が発生すれば全員が同じ境遇であり、互いに助け合うことが必要です。



「シェアする防災セット」を備えることで、
従業員のための備えはもちろんのこと、
周囲の困っている方々へ防災用品を
分け合うことが出来ます。

SDGsと防災の取り組みとの関連性

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すSDGsでは、

“ 誰一人取り残さない (Leave no one behind)” を理念に進められています。

日本は**災害大国**だからこそ、災害を念頭においた社会の構築が欠かせません。

東日本大震災をはじめとする過去の災害を教訓とし、

誰一人取り残さない防災への取り組みがSDGsに繋がっていきます。

関連するSDGs

目標6 ［水・衛生］

すべての人が安全な水とトイレを使えるようにする

目標8 ［経済成長と雇用］

すべての人が働きがいのある人間らしい仕事をし、自然資源である環境を守りながら、持続可能な経済成長を進めることを目指す

目標11 ［持続可能な都市］

包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現し、災害に強いまちや地域をつくる

目標13 ［気候変動］

気候変動がもたらす危険や自然災害に対する備えを強化し、災害に強く、災害から回復する力を高めることを目指す

外務省ＨＰ（https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html ）
セーブ・ザ・チルドレンHP（https://column.savechildren.or.jp/about-sdgs）をもとに作成

商品スペック

30 人分

ベーシック
(7点×30セット)

①使い捨て携帯トイレ（大小兼用）
②使い捨て携帯トイレ（小専用）
③静音アルミポンチョ　④使い捨て防塵マスク
⑤長期保存用カイロ　⑥備蓄用氷砂糖
⑦災害時お役立ちカード

1人分

× 30 セット

箱サイズ：約 W390×D310×H230mm
重量：約7.2kg　/　交換の目安：5年

¥56,800 (税込¥62,480)

10 人分

ベーシック
(7点×10セット)

上記と同様の内容　× 10 セット

箱サイズ：約 W295×D195×H145mm
重量：約2.5kg　/　交換の目安：5年

¥19,800 (税込¥21,780)

30 人分

ライト
(6点×30セット)

①使い捨て携帯トイレ（大小兼用）
②使い捨て携帯トイレ（ポンチョ付き/小専用）
③使い捨て防塵マスク ④長期保存用カイロ
⑤備蓄用氷砂糖
⑥災害時お役立ちカード

1人分

× 30 セット

箱サイズ：約 W390×D310×H200mm
重量：約5.8kg　/　交換の目安：5年

¥36,800 (税込¥40,480)

※出荷時は、商品と備蓄マークが外箱に同梱されています。※ 30人分・10人分いずれもご注文数および備蓄マークのサイズによって、外箱サイズが変動します。

[共通付属品]　防災用品備蓄マーク × 1枚 (詳細はP9へ)
持ち運び&配付用コットンバッグ　30人分×2枚　／　10人分×1枚 (W350×H360×マチ110mm)

※内容･仕様･価格などは予告なく変更する場合がございます。　※商品のサイズ、重量などの数値は、全て(約)の値です。

安心の品質

★ … 大手自動車メーカーの純正車載用防災セットに採用された実績のある、安全・安心な商品を厳選しています。(ホンダ・日産・ダイハツ・三菱・日野・いすゞ・メルセデスベンツジャパン 等)

B L

使い捨て携帯トイレ (大小兼用)

商品名称：ポルト
安全安心な優れた抗菌性凝固剤を使用しており、効果が長持ちします。汚物入れと持ち帰り袋、凝固剤、３ヵ国語対応の説明書付き。エチケット袋としても。

B

★使い捨て携帯トイレ (小専用)

商品名称：ハンディートイレ
片手で使用できる、ハンディータイプの携帯トイレ(1回分)。
逆止弁と吸水ポリマーが尿の逆流と臭いを防ぎます。
安心の大容量700ml。

L

★使い捨て携帯トイレ (ポンチョ付き/小専用)

商品名称：ハンディートイレ+ポンチョ
片手で使用できる、ハンディータイプの携帯トイレ(1回分)。
逆止弁と吸水ポリマーが尿の逆流と臭いを防ぎます。安心の大容量700mlで、大きなポンチョ付き。

B

★静音アルミポンチョ

防寒対策、レインウェア、着替えやトイレの目隠しとして利用できる３ＷＡＹ。
しなやかで音がしにくい静音タイプ。

B L

使い捨て防塵マスク

災害により飛散する粉塵や埃、火山灰などの粒子物質の吸入リスクを低減します。

B L

★長期保存用カイロ

商品名称：常備用カイロ
長期保存が可能な、貼らないタイプのカイロ。
寒さを和らげ、体温の低下を防ぎます。
※カイロについては、使用期限まで残り5年以上の商品のお届けとなります。

B L

備蓄用氷砂糖

商品名称：備蓄氷糖
賞味期限が無く、熱に強いため車内での長期保管も可能。即効性のエネルギー源となり、災害時に適します。

B L

災害時お役立ちカード

災害時に役立つ情報がまとまった、お役立ちカード。
裏面には各商品の詳細な説明も記載されています。

防災用品備蓄マーク

防災用品を備えていることが周知できる**「防災用品備蓄マーク」**が付属しています。
「誰か」のためを想う気持ちを込めて、やさしさと親しみを感じられるデザインを施しました。

トラック・車に

店舗・オフィスに

素材	**ステッカー / マグネット** どちらも耐水性・耐候性※のある塩ビ素材 ※日光や雨などの天候がもたらす要因に対する耐久性のこと。
サイズ	Sサイズ W150 × H185mm　Mサイズ W200 × H250mm Lサイズ W300 × H380mm　(ステッカー/マグネット共に同サイズ)

期待される効果

“**自社の災害対策**を行いながら、**同時に社会貢献**も実現”

- ☑ **災害対策と社会貢献** の両立
- ☑ 従業員の **社会貢献意識** の向上
- ☑ 備蓄マークを車輌や施設に貼ることによる **企業のイメージ向上**
- ☑ 誰一人取り残さない **サステナブルな社会** の実現

➡ **企業価値の向上**

自分のための
自助

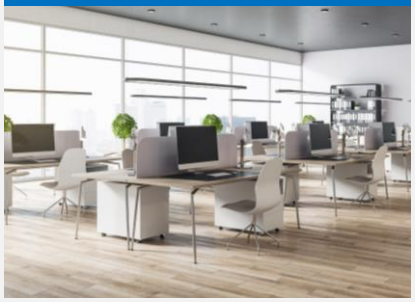
誰かと助け合う
共助

導入イメージ

車内はもちろん、オフィスや店舗に
置いても「防災をシェア」できます。

トラック・乗用車

オフィス



店舗・商業施設

マンション

その他　☑ ホテル　☑ 病院　☑ 公共施設　など

導入事例

熊本交通運輸 様

関東・関西方面に運行する
大型トラック50台に導入され、
2023年4月21日にテレビ熊本様と
熊本日日新聞様で取り上げられました。

兵庫ダイハツ販売株式会社 様

（兵庫県）

社用車17台に導入されました。

製造メーカーについて

― 車載用防災セットのパイオニア ―

ファシルは1975年の創業以来、「安心を一番近くに。」を企業理念に、
防災用品の企画・製造を手がける防災用品専門メーカーです。
2017年よりホンダ自動車様向けに純正車載用セットの提供を開始し、
現在までに大手自動車メーカー7社の純正車載用防災セットの製造を行ってきました。

高い品質に加えて優れたデザイン性も評価され、
社用車への備蓄やギフト・記念品としての採用事例も多く、
シリーズ累計15万個以上の製造実績があります。

GOOD DESIGN

2018年 車載用防災セット「ボウサイブロック」が グッドデザイン賞 受賞
2021年 ＜地域貢献型＞「災害用備蓄スタンドBISTA」が グッドデザイン賞 受賞
2022年 ＜社会貢献型＞「シェアする防災セット」が グッドデザイン・ベスト100 受賞

FAC!L

2024/03/05